



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業
◆司会：大西 章泰 副 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2823回例会

平成30年9月10日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



本日のゲストをご紹介します。第2800地区G・上林直樹さんです。第5ブロックG補佐・白田廣司さんです。そして地区副幹事斉藤さんです。本日はようこそお越し下さいました。山形西RCを代表しまして歓迎申し上げますと思います。

先週は北海道で強い地震があり、また超大型の台風21号が四国に上陸、列島を横断し日本海沿岸すれすれに北上したことで、いずれも各地に大きな被害をもたらしました。先の西日本では豪雨災害に見舞われたのに続き、今年の夏は災害級の猛暑が日本を襲いました。改めて「災害列島日本」の感慨を深くしたところ。付け加えなければならないことは、これが日本のみならず地球規模に及んでいることです。

今月末には東日本大震災の被災地石巻へ向かい、交流を通して現況を視察する予定ですが、一方県内に滞在する当時の被災者が7年半を経た今も2,021名を数えます。災害の傷跡、被災の現実の厳しさを実感させられます。

世界の平均気温は産業革命前より1.1度上昇したといわれています。1.1度の気温上昇で、すでにこれだけ影響が出ています。温暖化防止の国際ルール「パリ協定」は、産業革命前からの世界の平均気温上昇について、2度を大幅に下回る1.5度を指すとしたのですが、それは全く甘い予測で世界は今、4度上昇に向かう軌道にあるのだそうです。日本は、エネルギー政策上、事情もあるのですが今のところCO2削減目標達成に余り熱心とは言えないようです。

しかし、日本は世界の国土面積では61番目ですが、排他的経済水域を入れた面積で見ると世界6番目だそうです。自然エネルギーの未来に向けて日本の技術力を発揮し国際社会に貢献する日が来ることを期待したいと思います。

最近出版された「プラネタリーバウンダリー（地球の限界）と持続可能な開発」によれば、地球システムは、回復力が高く元の状態に止まろうとするけれども、ある転換点を超えると回復不能で予測しないことが起きる。地球の陸地や海洋の自然生態系が均衡状態を保とうとするが、その回復力を失わないようにすることが大事とあります。

SDGs（エス・ディー・ジーズ）という文字を目にした、あるいは耳にしたことがあると思います。アルファベットの大文字SDGに最後小文字のsがつくスペルを、エス・ディー・ジー・エスと読まれる方がいらっしゃいますが、最後はGoals(ゴールズ)の略でジーズと発音します。サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ持続可能な開発目標、通称「グローバル・ゴールズ」とも言いますが、貧困に終止符を打ち、地球環境を保護し、す

べての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにすることを目指し行動を呼びかけています。2015年9月、国連サミットで採択され、加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた17分野にわたる目標です。

その中身は、貧困をなくす、飢餓をゼロに、健康と福祉、教育、ジェンダー、安全な水、クリーンエネルギー、働きがいと経済成長、強靱なインフラ・持続可能な産業（農業）とイノベーション、国内・国家間の格差是正、住み続けられるまちづくり、消費と生産のパターン、気候変動対策、海と陸の豊かさ、平和と公正、パートナーシップです。

一つ一つを見て行きますと17分野の大部分でRIのテーマと重なります。日本の企業も次々にこのSDGsを意識した経営に切り変わってきています。企業の規模や業種を問わず、それぞれの分野でSDGsをもとに様々な取り組みがなされるようになりました。

また、世界的に異常気象が相次ぐなか気候変動リスクの抑制に向けて世界の投資マネーが動き出しています。環境の観点から化石燃料に関連する企業の株式や債券を売却する投資家が世界で広がりを見せています。SDGsの目標から逸脱すると株式や債権さえも売られなくなる時代なのかもしれません。

ラリー・ラシンRI会長のキーワードはサステナブル。SDGsの目標をヒントに持続可能な奉仕活動を行い共にインスピレーションになりましょう。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●山形県の英語教育研究会東南村山支部から、前回は第70回英語弁論大会の感謝状というお礼状をいただきますので、ご報告申し上げます。

●本日、正式に高知南ロータリークラブから60周年記念のご案内が届いております。すでに締め切ってはおりますけれども、これからキャンセルになりますとキャンセル料が発生するということで委員長のほうからお話いただいておりますので、ご注意いただければと思います。



第70回
英語弁論大会

「ガバナー公式訪問例会」

ガバナー

上林 直樹 氏



西ロータリーの計画書、報告書を見せていただきました。61年目でございます。うちのクラブは実はまだ32年目、半分ぐらいでございます。メンバーの数も今42名ですから、とても足元にも及ばないクラブでございますので、逆に大変勉強になりましたので、今後ともどうぞよろしくお願いをしたいと思います。

会長・幹事の会で今いろいろお話をさせていただきました。最初に、我々地区のほうに出向していただいている方々に、まず御礼を申し上げたいと思います。それからもう1点、7月1日からガバナーになったわけですから、ちょっと紹介をしたいと思います。

実はこの左手にあるゴングなんですけども、2018-19年度、そしてまた来年度、大久保年度の2年間に渡って、これを公式訪問の時に持っていき鳴らしなさいというお話だったので、今日、お持ちしました。それで、結構これ重いんです。6キロぐらい。聞いたらちょうど人の頭ぐらいの重さだという話だったので、ちょっとゴングを鳴らしてみます。音が違うんだと思います。従来のゴングを鳴らすとこんな感じです。こっちのゴングは、ちょっとキーが高いようです。いずれにしても2020年度、来年、再来年、オリンピックの年、9月もしくは11月ぐらいに日本ロータリー100周年ということで、そのお祝いのために、RIの会長のスケジュールはまだはっきりしませんが、お祝いをしましょうということで今計画しているみたいです。それで、その2年間はこれを公式訪問の時に必ず持っていきます。

このクラブはしっかり、歴史があるクラブというんですか、大変重さがあるクラブでございます。とやかく言う必要はないと思うんですけども、他の公式訪問に行きますと勘違いしているクラブもあります。何かと言うと、RIの会長から言われたからどうだ、ガバナーが言ったからどうだということでは一切ありませんので、あくまでも皆さんのクラブなので、皆さんのいいように、例会の曜日にしても時間帯にしても、全部自分たちのいいように行ってください。その最高決議機関として、理事会の皆さん総意で決めていただきたいと思います。なかなか小さいクラブに行きますと、「いやいや、ガバナーが言ったからどうだ」とか、「RIの会長がこう言ってる」という話をよく聞きますけども、そういうことは一切ありませんので、その辺、ひとつお願いをします。

それから、皆さんわかると思うんですけども、日本は今47都道府県でございます。実は地区が34地区に分かれています。これ、なんで34地区なんですか、なんで1県1つじゃないんですかと言われると、ロータリーの会員の数、

メンバーの数でございます。要するに会員が少なくなるとRIのほうから、「合併しなさい」という話になります。ですから、近いところだと、宮城県と岩手県は今一緒です。ガバナーは1人です。宮城県と岩手県は同じです。北海道は今半分に分かれています。じゃあ山形県はというと、おかげさまで1,600名いらっちゃって、でも、これでも後ろのほうから、34地区の後ろからいくと3番目です。1番少ないのが、今、秋田県。秋田が1,150名、青森が1,223名。そのぐらいになりますと、もうそろそろ上のほうから「合併しなさい」というのもあり得ますので、会員の増強を常に頭の中に入れておかないとメンバーが必ず減る。自然減になります。

もっと例を言いますと、例えば四国、4県ありますけどもガバナーが1人です。そういう意味で4県は1つ。ですから皆さん、改めて『ロータリーの友』を見てもらうと、あそこにいろいろ書いてあります。人数が大体書いてありますので、今現在も34地区あるということは、47都道府県のうちの34ですから、その他の県はやっぱり合併しているということです。ですから山形県はなんとか、おしりから3番目ですけども、1,600名を今キープして、改めて会員増強のお願いをしたいと思います。

ここは100名、さすがに山形西さんは素晴らしいクラブだと思うんですけども、それでもなんとか会員を増強していただいて、1人でも2人でも結構ですので、入れてください。改めてお願いをしたいと思います。それで、会員増強のノウハウを今さら言ってもしょうがないと思うんですけども、実はアメリカで、1月にパストガバナーいらっしゃるんで経験あると思うんですけど、アメリカのサンディエゴに行って、約1,000名のガバナーエレクトが集まって、大きな体育館みたいなところで、ステージがあって、そこにずっと椅子が並んでいて、後ろのほうに同時通訳がいらっしゃいます。それが約9カ国でございます。数えました。同時通訳が何人ぐらいいらっしゃるか。9カ国ということは、例えば日本語もあるし、韓国語もある。スペイン語ですとか、イタリア語、フランス語、いろいろあります。それで9カ国に分かれて同時通訳のヘッドホンをしています。

その時にバリー・ラシン、今年度のテーマを言うわけです。今年度は、ステージのほうで言います。「Be The Inspiration」ということでございます。これは何を言いたいかという、この前の土曜日の日立「世界ふしぎ発見!」、あの「inspire」という言葉があります。バリー・ラシンは「Be The Inspiration」ということで、イコール「inspire」ということだそうです。「inspire」ということは、「in」というのは「入る」、「spire」ということは「息」、これ「プレスをする」。息イコール精神、また、魂だそうです。例えば彼に対して息を入れるということは、魂を入れる。モチベーションを上げてやる、やる気にさせる、ということです。ですから、鼓舞する。

皆さん会社の経営の方だとわかると思うんですけども、例えば朝礼ですと、朝、やる気にさせるわけです。どっちかというとも曜日の朝ですから、ブルーデーです。例えば土日が休みであれば、やっぱりどうしても会社行きたくない

いな、今日仕事やりたくないという感じ、人間であれば誰だって思うと思うんですけども、そうじゃなくて、今日は「いいかい。今日は週の初めなんだから、逆に言うとしっかり1週間、ふんどしを締め直してしっかり仕事するように」ということで、従業員に対しても鼓舞するわけです。やる気にさせるってことです。もっと簡単に言えばモチベーション上げてやるとか、ロータリーであればいろいろ、心をもっと奮い立たせようということ、そういう意味だそうなんです。この「Be The Inspiration」というのは、ですから「inspire」ということをもう1回皆さんの頭の中にしっかり入れてください。バリー・ラシンはそういうことを言っています。

そのロータリーの原点にもう1回戻ろうという地区の基本理念を出させていただきました。これは「BACK TO BASIC」ということで、ここに書かせてもらいましたけども、我々の人生というのは「どれほど得たか」ではなくて、逆に言う「どれほど与えたか」によって判断される、ということなんです。

それからもう1点、皆さん、ロータリーに入った時に会長からバッジをもらいます。この時に、我々は世界の人たちにしっかり約束をしましたということです。何の約束をしたのかというと、奉仕の約束をしました。「我々ロータリアンとして、しっかり世界の方々に奉仕の約束をしました」ということだけしっかり皆さんもう1回頭の中にインプットをしてください。その辺ひとつ、もう1回ちょっと改めて。

何年か前、ロータリー作ったほうなんで、31年チャーターやってきましたけども、もう1回、そういう意味で勉強することをしっかり頭の中にインプットをしてください。世界の方々に約束したことだけ頭にしっかり入れてください。よろしくお願いをしたいと思います。

それでもう1つは、基本方針としては「パフォーマーになろう」、「共同表現活動者になろう」。これ、実はロータリーというのは、極端な話、隣のおじさん、おばさんに「ロータリーってわかりますか」と聞いた時に、名前は知ってる。ロータリーにしてもライオンズにしても、名前は知ってる。でも何をやってるかはわからない部分がほとんどだと思います。

ですから、ロータリーに携わっているいろいろやらせていただいて、いろんな地区から補助金が、エントリーが来ます。皆さんすばらしい奉仕活動をやってるわけです。それで補助金のエントリーが来ると「わかりました」と言って、チェックをします。すばらしい奉仕活動をやってるんですが、なかなかそのアピールが「謙譲の美德」と言うんですけど、おとなしいんです。ですから、その辺、もうちょっとアピールをしてもらって、バリー・ラシンも言っています。ロータリーのイメージを向上してくれという話です。今まで、ロータリーのイメージは向上してこなかったということなんです、逆に言えば。

皆さんも、ロータリー活動の奉仕活動、社会奉仕活動いろいろあります。その奉仕活動をやったときに、できればメディアですとか、いろんなところを利用して、できるだけアピールを改めてお願いをしたいと思います。

それで、西ロータリーさんはさっき聞いたら弁護士さん4

人もいらっちゃって、大変、苦勞しているみたいな感じですけども、それはそれで羨ましいなという感じなんです。うちのクラブは42名いますけども、1業種1名ということです。それで出来るだけ会員スピーチをやります。皆さん、いろんな職業を持っていらっしゃいますから、できれば1人15分でもいいですから、せっかくロータリーで高いお金を払っているんで、業界の話を是非していただくように、改めてお願いをしたいと思います。

業界の話は、私は15分間しゃべれと言われてたらしゃべります。1時間しゃべれと言われてもしゃべります。ですから、逆に言うと、せっかくこれだけ皆さんいらっしゃるので、是非、その業界の話を、商売の話でも結構です。自分の会社のPRでも結構ですので、是非そういう部分で、会員スピーチをできるだけ増やしていただいて、メンバー以外の方々が来てもらっても、是非その辺はひとつ、お願いをしたいと思います。

いつも公式訪問の度に、せっかくメンバーが集まったのであれば、是非、商売の話をしてください。ちょっと自己紹介をしますけど、私はJCが15年、ロータリー入って32年目でございます。ですから、今、当年とって70歳になりました。

JCのときは、職業見え見えでくると、バーンとはじかれます。JCは15年経験したので、それは分かります。商売の話は一切ダメ。でも、ロータリーに関しては、我々、皆さん、職業、皆さん違いますので、商売の話を是非してください。

それで商売の話って語弊があるんですけども、例えば、うちの工場であれば電気。電気業の方いらっしゃれば、この電気を改造してもらいたい。その見積もりをしてくれとか。例えば、ペンキ屋さんがいれば、見積もりをしてくれないかみたいな。そういう商売の話を是非。せっかく皆さんと顔を合わせているわけですから。1時間、こういう形で食事しながら、いろんな話をするわけです。是非、商売の話をひとつ、改めてお願いをしたいと思います。

もうひとつは、その会社にお邪魔をして「移動例会」をやるという手もあるんです。それで、その会社がどういう会社なのか、ちゃんとした社是、社訓、等々全部あってしっかりした会社だとは思いますが、皆さんにとっては新鮮だと思いますので、そういう部分のひとつのアイデアとしては、そういう部分もありかな、という感じはします。

それから、ちょっと、ポリオの話を改めてしますけども、サンディエゴで約1,000名のガバナーエレクトの皆さんが集まって、体育館みたいなところに、ずっと椅子が並んでいて、そこに入入りするたびに、入り口の横に、そのドーム型のガラスケースに入った1メートル半ぐらいアールになってまして、長さ約2メートルぐらいのベッドがあります。入り口に入るたびに気になって、ロータリーのメンバーに聞いてみたら、「その中にポリオにかかった子どもさんが入って、暴れないために両手両足を縛る。それでそこから一生出られません。」と言うんです。ポリオにかかった子どもさんは、一生出られませんという話をします。

ロータリー、文献見ますと32年前に、世界のロータリーでポリオを撲滅しようということで、スタートしました。32

年前にスタートとして125カ国、もちろん日本にも約35万人、患者さんがいらっしゃいました。その32年間に、何人ワクチンを投与したかと言うと、26億人だそうです。皆さんからいろんなお金をいただいて、子どもたちにポリオワクチンを投与します。

『ロータリーの友』を見るとわかると思うんですけど、子どもさんが口を開けて、そこにポツとワクチンを投与するわけです。それが今までは26億人。子どもたちに投与しました。これをしないと、0にはならないわけです。ロータリークラブでは、7月17日現在、約1カ月前のデータですけども、世界の中に12名、子どもさんいらっしゃいます。ポリオにかかった子どもさんいらっしゃいます。これを出来るだけ0にしたい。例えば来年に0になりました。それから3年間、0、0、0。それで初めて、WHOから「0になりました。ポリオは0になりました。」ということで、認定を受けるわけです。ひょっとしたら、ロータリークラブとして、「ノーベル平和賞をもらえるかもしれません。」という話をしました。

世界のロータリーが一丸となって、ポリオを0にしようということで今、動いていますので、ロータリークラブとは、すばらしいクラブだとガバナーになって改めて思います。

皆さんからいただいたお金で、ワクチンを買って、子どもたちに投与するわけです。その12名も、なかなか投与できない地区。アフガニスタンとパキスタンと2カ国です。その12名の子どもさんがいらっしゃる地区は、日本みたいに簡単に、投与できない地区なんで、その辺がちょっと歯がゆいんです。それも理解をしてください。お願いをします。

もう1点、地区大会の話をするんですけど、実は酒田でやるわけですけども、野口健さんを今回、講師として呼びました。彼は、アルピニストであり、エベレストですとか、エベレストのクリーン作戦ですとか、富士山のクリーン作戦ですとか、いろいろやっています。彼は、別のライフワークを持っていて、「遺骨収集」の話があります。大東亜戦争で亡くなった方々の遺骨を収集するというライフワークを持っています。例えばインドネシア、フィリピン、そういう洞窟の中に入って行って、遺骨を収集するわけです。そのときに、頭蓋骨を持ったときに、その頭蓋骨がどっちを向いているのか、ものの見事に日本を向いていると言うんです。それで、それを粗末にする国民は、いずれ滅びます

と言う。彼は僕ら日本人に対して、警鐘をならしているんです。そういうことをやっちゃいけませんと言うことです。

それからもう1点、今年度のRIの会長は、バハマ出身です。実はバハマというのは、海拔、平均1メートル。2100年になると、水位が約2メートル上がります。ということは自分の国が無くなるということなんです。そういう意味で、環境問題の話もしてくださいという話を彼にお願いをしました。あと、教育問題もあったんですが、その3点をお願いをして、是非酒田に来てくれという話をしました。10月21日曜日、酒田市民会館で彼のお話を聞きたいと思っています。我々、ロータリアンとしてはこれからどうするのか。

演題が「先の日本を思えばこそ…」という演題です。未来に向かって我々ロータリーがどう動けばいいのか。そういう話をさせていただきます。

ガバナーになって、これだけの人数の例会は初めてです。1番少なかったところは9人、これだけいっぱいいると大変緊張します。人数がいらっしゃると、数も力なりということ。酒田でお待ちします。山形西ロータリークラブ様のますますの発展をご祈念を申し上げます。

ニコニコBOX

小林恵一会長、菅原茂秋さん／白田ガバナー補佐を歓迎して。上林ガバナー、白田ガバナー補佐の西ロータリー公式訪問ありがとうございます。2800地区発展に更なるご尽力下さいますようお願い申し上げます。

白田ガバナー補佐／本日はよろしくお願ひ致します。

鈴木浩司さん／上林ガバナーの2800地区での今後の活躍をご期待します。

半田 稔さん／8日(土)に東京で娘の結婚式がありました。会社の上司を呼ばない友人ばかりの結婚式で楽しく過ごしてまいりました。

吉田昌弘さん／山形市食肉まつり。場所 山形ビッグウイング、参加人数 800名。無事天候にめぐまれ大成功に終わりました。ありがとうございました。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (9/3)	98名	67名	修正出席 (8/27)	98名	89名	89名	100%
メイクアップされた会員							